

Technics®



取扱説明書

ミュージックサーバー

ST-G30L

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、
新しい感動を求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

最高水準の感動を、
世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

A handwritten signature in black ink that reads "Michiko Ogawa". The signature is fluid and cursive, with a long horizontal line extending from the end of the name.

はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(⇒ 08 ~ 10)を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒ ○○)で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

本機の特長

Hi-Fiグレードにふさわしい、高音質データ伝送を実現

徹底してノイズ・ジッター対策を行った Digital Noise Isolation Architecture、不要なブロックの電源をオフにし、音の純度を高める Optimally Activated Circuit System を搭載。プレーヤーへの高品位なデータ伝送を実現しました。また、USB での伝送では、USB インターフェースへの電源ノイズの流入を低減する Low Noise USB Transfer を採用。USB 出力により USB-DAC と接続することができ、デコード処理を ST-G30L 側で行うことでプレーヤー側の処理負荷を下げ、音質劣化の少ないデータ伝送を実現。LAN 接続と異なり、純度の高い再生を可能にします。

高精度なデータ取り込みによる忠実度の高い CD リッピング

ST-G30L はお手持ちの CD のリッピング機能を内蔵。44.1 kHz/16 bit のデータを取りこみ、WAV/FLAC 形式で保存できます。ドライブメカには、専用設計の内製 CD ドライブを搭載したうえ、エラー時の読み取り特性再調整・リードリトライ(再読み出し)、正しいハッシュ値との比較検証まで行う Bit-perfect Ripping を採用。さらに静音シエルタに格納した CD ドライブを中央にリジッドにマウントさせることで振動やノイズの発生を抑える Rigidly-Mounted Sheltered Drive などにより、高精度なデータ取り込みを実現しました。さらに、2重構造の高剛性シャーシ、剛性が高く減衰性に優れた鋳鉄製のインシュレーターを採用し、外来振動と外部へ与える振動を徹底的に低減し、読み取り精度の向上を徹底して追求しています。

タブレット、スマートフォン用「Technics Music App」からあらゆる操作が可能

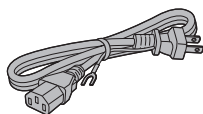
タブレット、スマートフォン用の専用アプリ「Technics Music App」を使えば、CD リッピングやタグ編集、インポート/バックアップ、USB オーディオ再生、各種設定など、あらゆる操作を手軽に行うことができます。CD からリッピングしたデータへは、インターネットから楽曲情報を取得し埋め込みます(Gracenote®)。音楽への没入を妨げる PC での操作を必要としない、快適な操作性を実現しました。またストレージは、着脱式の機構を採用し、将来のアップグレードにも対応。さらに、e-onkyo music で購入した楽曲を自動で本製品にダウンロードする機能も搭載。ハイレゾ音源のダウンロードから再生までのすべてを手軽に楽しむことができます。

もくじ

安全上のご注意	08	ご使用前に必ずお読みください
取り扱いについて	11	本機の設置
SSD を準備する	12	SSD を取り付けてフォーマットする
各部の名前と働き	14	本体 (前面・背面)
接続する	16	ミュージックサーバーの接続例、各機器 / 電源コードを接続する
準備する	20	本機を操作する前に、CD や USB の音楽を取り込む
再生する	22	本機の SSD に保存した音楽を楽しむ
使いこなす	24	パソコンのデータを保存 / バックアップする
故障かな !?	25	故障かな !? と思ったらご覧ください
必要なとき	27	仕様、著作権、保証とアフターサービスなど

付属品

電源コード (1 本)



K2CF3YY00016

ねじ (4 本)



XSS3+6FN

- 付属品の品番は 2016 年 3 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品や別売品 (⇒ 28) は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>



パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	-----------	-----------------------	---	-----------	----------------------------------

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

 **警告**



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



ねじ類他は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



取扱説明書に記載の項目以外の分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

接触禁止

警告



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

アースは確実にを行う

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

注意



不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

必ずお守りください

 **注意**



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 天板の上に物を置かないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



異常に温度が高くなる場所に置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグ
を抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。



指はさみ
注意

CD およびストレージトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

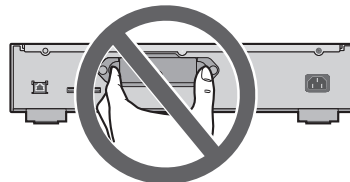
- 特にお子様にはご注意ください。



本機 SSD 着脱部のくぼみをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。



SSD を次のような場所に置かない

故障の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所
- 温度差が激しい場所
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生する場所
- 湿気やほこりの多い場所

本機の設置

- 本機を移動させるときは、CD を取り出し、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。
- 設置場所が本機の重量に十分耐えられることをご確認ください。(本機の質量 ⇨ 27)
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - 急激な温度変化が起きたとき (暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで (約 2 ~ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

廃棄 / 譲渡するとき

本機には、お客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(⇨ 25、「本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定) に戻すには」、「SSD に保存した音楽や設定を消去する」)

- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。
- 本機の SSD に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本体背面のストレージトレイ (⇒ 14、15) は取り外しが可能です。本機を使用する前に、ストレージトレイを取り外して SSD を取り付けてください。

- お買い上げ時、SSD は付属していません。市販の SSD をお買い求めください。
- SSD の取り扱いについては、「SSD」 (⇒ 29) をご覧ください。

■ 対応している SSD

本機は 9.5 mm 厚までの 2.5 インチ SATA SSD に対応しています。(5 V 駆動のものに限ります。)

PATA、1.8 インチ、ZIF コネクタ、3.3 V 駆動および特殊形状 (ASUS Eee PC の内蔵 SSD 等) の SSD は接続できません。詳しくは下記のサイトでご確認ください。

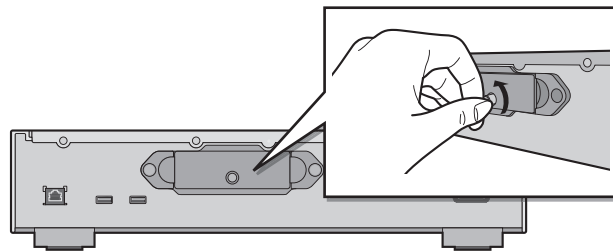
jp.technics.com

準備する付属品：

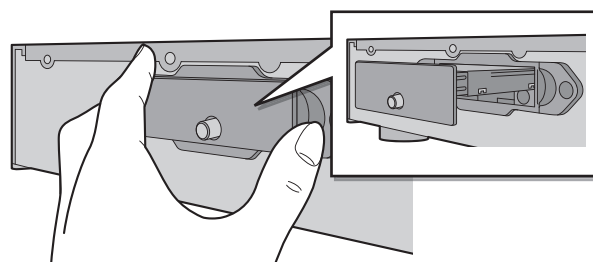
- ねじ (M3、シルバー) 4 本

以下の手順で SSD を取り付けてください。

1 本体背面の固定ネジを回してゆるめる

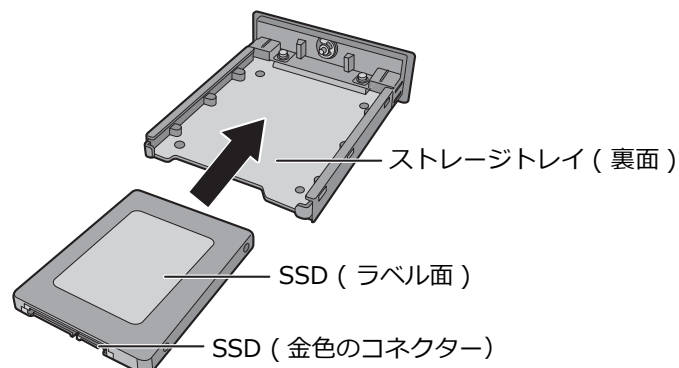


2 ストレージトレイの両端を持ってまっすぐ引き出す



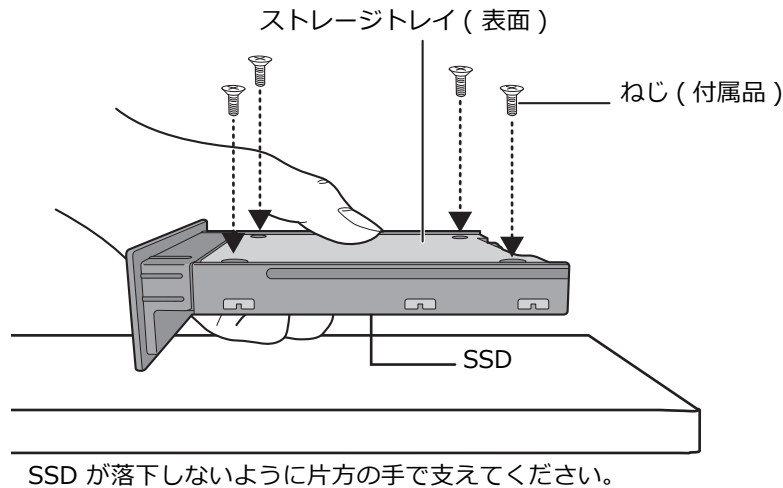
3 ストレージトレイを裏向きにして SSD を取り付ける

- 取り付ける際は、SSD とストレージトレイの向きにお気をつけください。



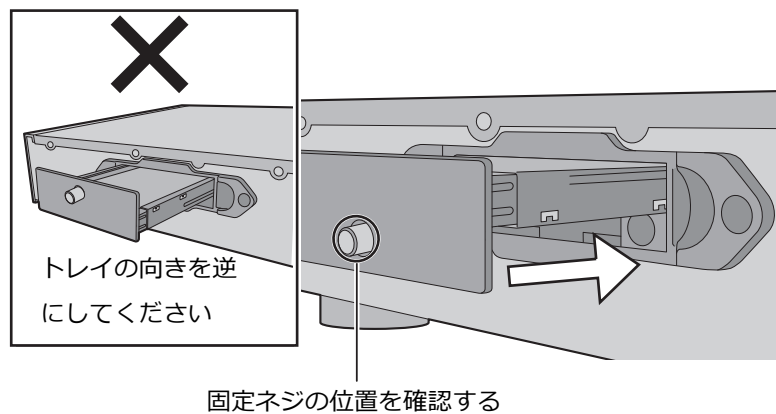
4 ストレージトレイを表向きにしてねじ（付属品）を締める

- ねじを締めるには、プラスドライバーをお使いください。プラスドライバーは、ねじの大きさにあったサイズをご使用ください。
- ねじは過大な力で締め付けしないでください。ねじ山がつぶれて使用できなくなります。



5 ストレージトレイを本機に差し込んで固定ネジを締める

- ストレージトレイ を差し込んだあと、トレイがぐらつかないように固定ネジをしっかりと締めてください。



6 各機器 / 電源コードを接続する (⇒ 18、19)

7 「Technics Music App」で SSD をフォーマットする (⇒ 20)

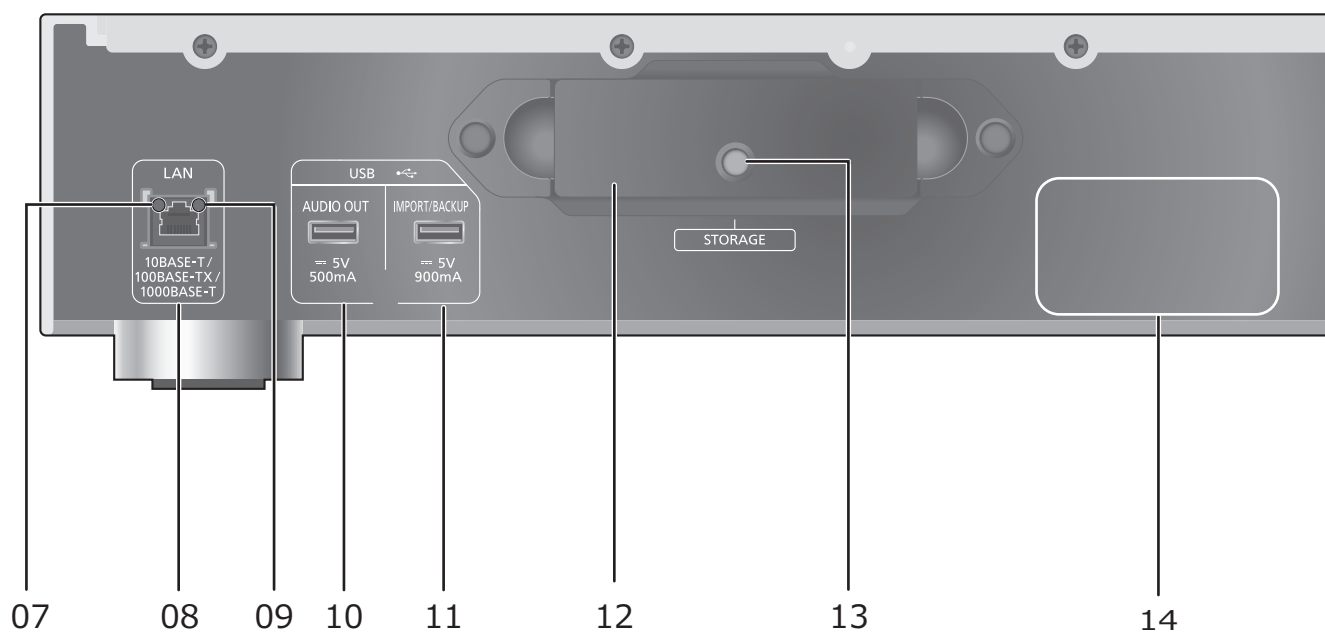
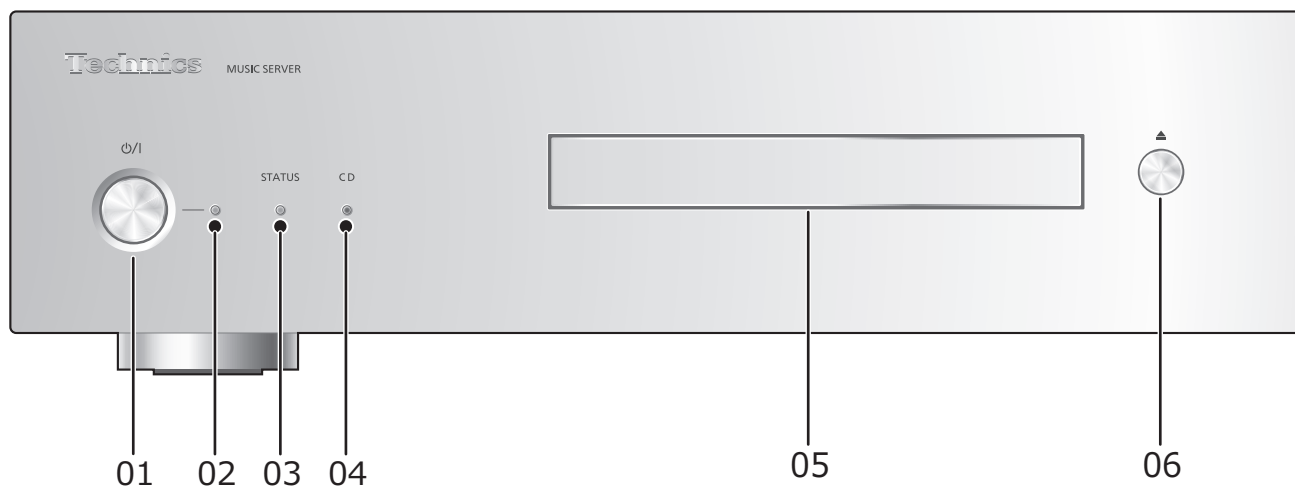
- 詳しくは「Technics Music App」のユーザーガイドをご覧ください。

■ SSD を着脱するときは、必ずこの手順で行ってください。

- SSD を着脱する際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を入れたまま SSD を着脱すると故障の原因となります。

お知らせ

- SSD の金色のコネクターに触れないようご注意ください。
- SSD を取り外す際に、大切なデータが消失しないように、バックアップをお勧めします。(⇒ 24)





01 電源スイッチ [⏻/⏻]

- 本機の状態 (電源入 / 切) を切り替えます。

02 電源インジケータ

- 電源「入」時は、青色に点灯します。

03 STATUS インジケータ

SSD の状態を示す 2 色の LED インジケータです。

- 電源「入」時は、青色に点滅します。

消灯	SSD が取り付けられていません (⇒ 12、13)
青色に点灯	SSD を使用できます
赤色に点灯	USB の音楽を取り込み中です / e-onkyo musicから音楽をダウンロード中です / バックアップ中です / リストア中です
赤色に点滅	SSD が未フォーマットです

04 CD インジケータ

CD の状態を示す 2 色の LED インジケータです。

- 本機に CD を入れると、青色に点滅します。

消灯	CD が入っていません
青色に点灯	CD を使用できます
赤色に点灯	CD の音楽を録音中です
赤色に点滅	使用できない CD です

05 CD トレイ部

06 CD トレイを開閉する

- CD インジケータの点滅後、トレイが開閉します。

07 ネットワーク接続インジケータ

消灯	未接続
黄色に点灯	接続待機中
黄色に点滅	接続アクセス中

08 LAN 端子 (⇒ 18、19)

09 ネットワーク通信速度インジケータ

消灯	未接続 / 10 Mbps 接続
橙色に点灯	100 Mbps 接続
緑色に点灯	1 Gbps 接続

10 USB 端子 ≡ DC 5 V 500 mA (AUDIO OUT) (⇒ 22)

- USB-DAC 搭載機器を接続します。

11 USB 端子 ≡ DC 5 V 900 mA (IMPORT/BACKUP) (⇒ 21)

- USB メモリー・USB HDD (ハードディスク) を接続します。

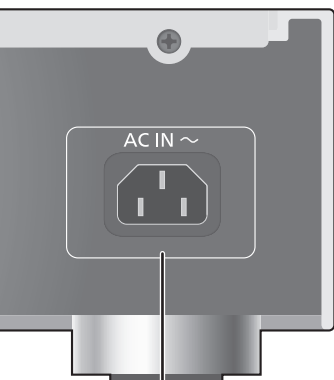
12 ストレージトレイ (STORAGE)

- トレイを取り外して SSD の着脱ができます。(⇒ 12、13)

13 固定ネジ

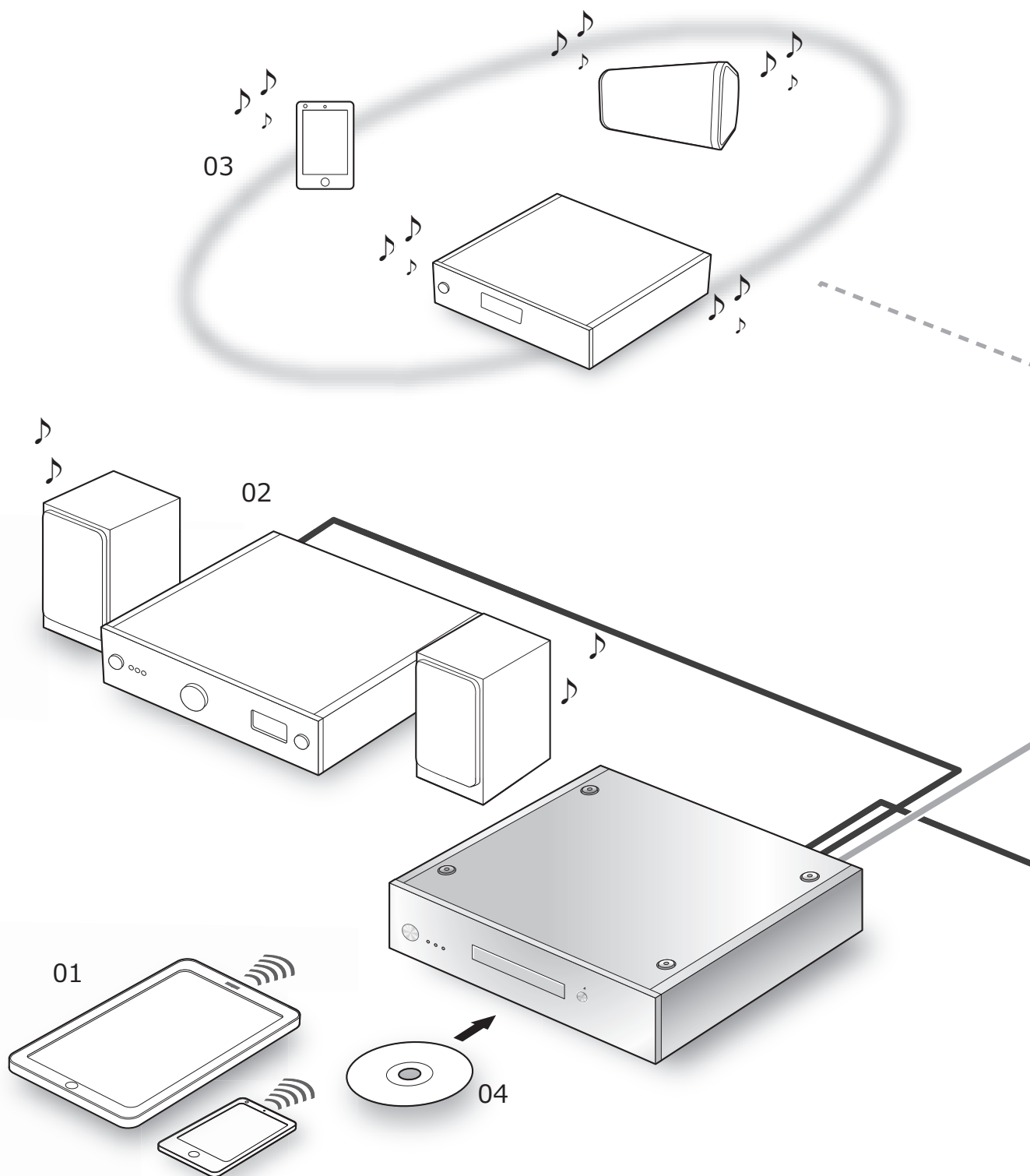
14 定格銘板

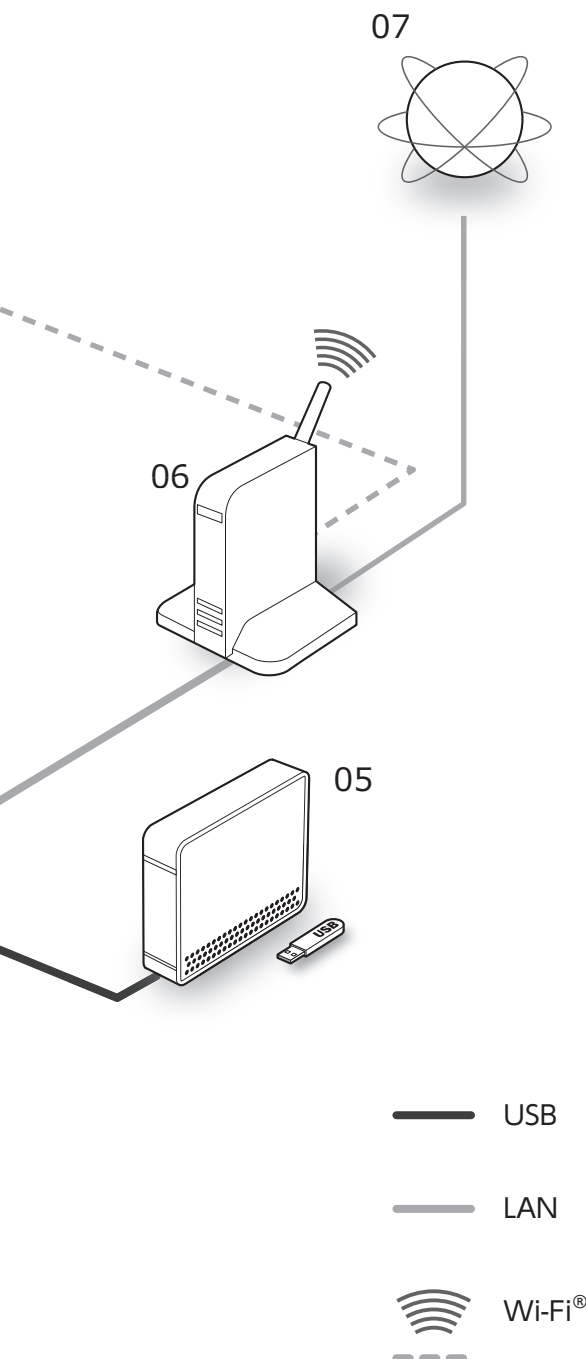
15 AC IN 端子 (~) (⇒ 18、19)



15

本機は音楽データを保存・自動整理し、様々なオーディオ機器へ伝送する Hi-Fi ミュージックサーバーです。音楽データを本機の SSD に保存すれば、USB-DAC を搭載しているプレーヤーやアンプなどに接続して音楽を楽しむことができます。また DLNA 機能を利用して、本機の SSD に保存している音楽をネットワークプレーヤーやタブレットなどから再生することもできます。





01 スマートフォン・タブレット

「Technics Music App」をダウンロードして本機を操作します。

- 本機を操作する前に (⇒ 20)

02 USB-DAC 搭載機器

USB ケーブルで接続して、本機の SSD に保存されている音楽データを出力します。

- USB オーディオで音楽を楽しむ (⇒ 22)

03 ネットワークプレーヤー・スマートフォン・ワイヤレススピーカー

DLNA で接続して、本機に保存されている音楽データを出力します。

- DLNA で音楽を楽しむ (⇒ 23)

04 CD

- CD の音楽を録音する (⇒ 21)

05 USB デバイス

USB デバイスの音楽を本機の SSD に保存することができます。また、SSD に保存した音楽を USB デバイスにバックアップすることもできます。

- USB デバイスの音楽を取り込む (⇒ 21)

06 ブロードバンドルーター

本機と有線 LAN で接続します。

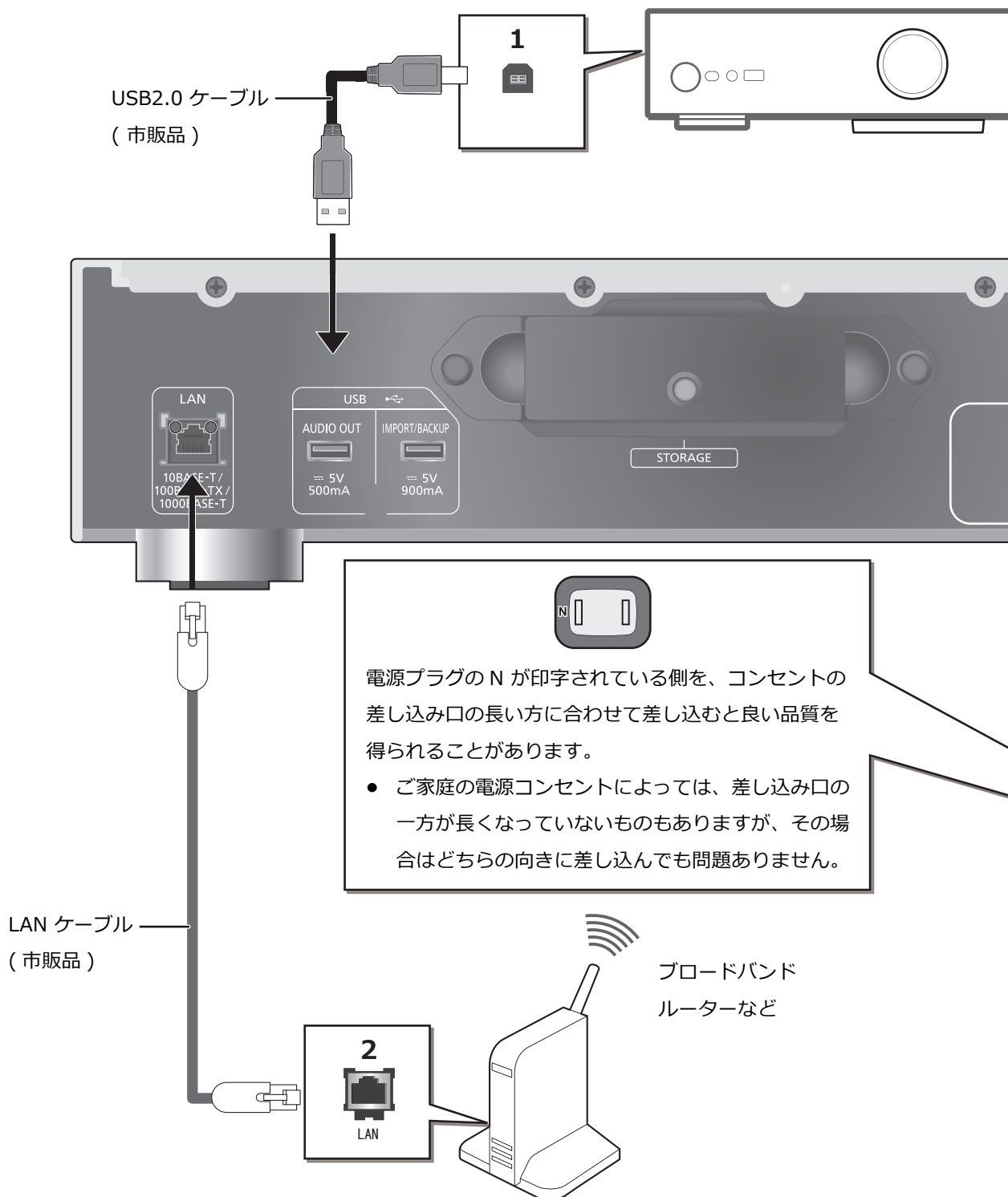
- 接続する (⇒ 18、19)

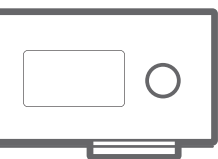
07 インターネット

ハイレゾ音源サイトから音楽ファイルをダウンロードしたり、Gracenote データベースで、タイトル情報を自動取得することができます。

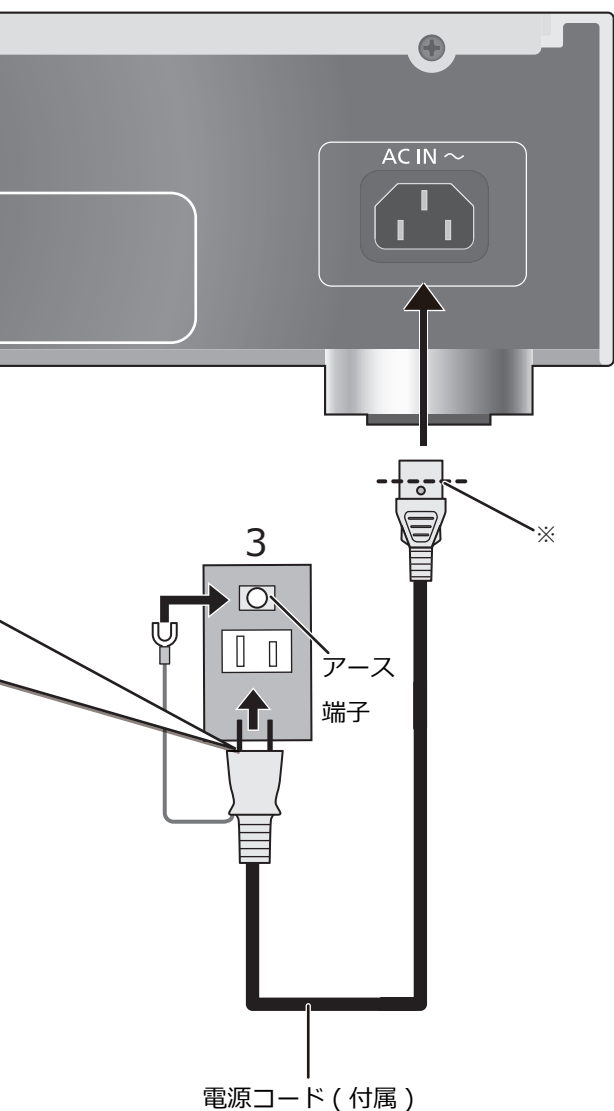
- 本機を操作する前に (⇒ 20)

- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。





※ 丸穴部分まで差し込んでください。
(ただし、奥までは差し込みません)



1 USB-DAC 搭載機器と接続する

本機から音声信号を出力し、音楽ファイルを再生することができます。

- 各機器の詳しい操作については、それぞれの説明書をご覧ください。
- DLNA の機能を使って音楽を再生する際は、USB 接続は不要です。

2 有線 LAN 接続を行う

LAN ケーブルを接続するだけでお使いになれます。

- カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線 (シールドタイプ) をお使いください。

3 電源コードを接続する

電源コードはすべての接続が終わったあと、接続してください。

- 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。

お願い

- アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お知らせ

- 本体の電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本体の電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力 ⇨27)
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- LAN ケーブル以外 (電話のモジュラーケーブルなど) を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ アプリを準備する

本機をお使いになる前に専用アプリケーション「Technics Music App」(無料)をスマートフォン・タブレットにインストールする必要があります。

Technics Music App

- iOS 機器 : App Store
- Android 機器 : Google Play™



「Technics Music App」の操作方法や表示はアプリケーションのユーザーガイドで確認してください。
ユーザーガイドは下記のサイトからダウンロードすることができます。
jp.technics.com/support/

■ スマートフォン・タブレットを無線 LAN 接続する

本機の操作や設定は「Technics Music App」をインストールしたスマートフォン・タブレットからネットワーク経由で行います。スマートフォン・タブレットの Wi-Fi 設定をオンにして、本機と同じネットワークに接続してください。

■ SSD をフォーマットする

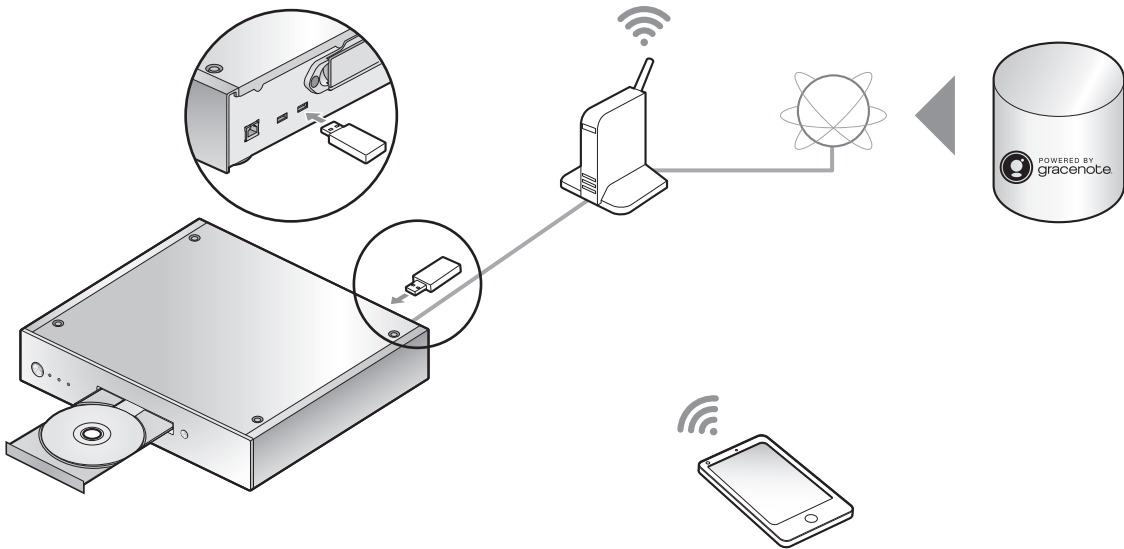
本機を使用する前に SSD をフォーマットする必要があります。SSD をフォーマットしていない状態では、本機はご使用になれませんので、お気を付けてください。

- 1 「Technics Music App」アプリを起動する
- 2 「ST-G30 メニュー」から
「Technics ST-G30*****」を選ぶ
 - 「*****」は機器に固有の番号を表示します。
- 3 「設定」から「初期化」を選ぶ
- 4 「SSD のフォーマット」をタップする
 - SSD をフォーマットする場合は、「OK」を選んでください。

■ ハイレゾ音源サイトを利用する場合

e-onkyo music とはオンキヨー & パイオニアイノベーションズ株式会社が運営するインターネットを利用したハイレゾ音源配信サイトです。パソコンやスマートフォン・タブレットから音楽ファイルを購入することができます。

- e-onkyo music を利用するためにはメンバー登録が必要です。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://www.e-onkyo.com/music/>
- ハイレゾ音源配信サイトで購入済みの音楽ファイルを本機の SSD に自動的にダウンロードすることができます。詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。
- ハイレゾ音源配信サービスは、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了する場合があります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対して当社は責任を負いません。



本機に CD や USB デバイスを挿入して、音楽を取り込むことができます。

- 本機は CD を再生することができません。
- 本機で使用できる CD や USB デバイスについては (⇒ 28)

準備する

- 「Technics Music App」アプリをインストールした機器と本機を同じネットワークに接続する。

■ CD の音楽を録音する

1 本機の [⏻/⏻] を押して電源を入れる

2 [▲] を押して CD トレイを開き、CD を入れる

CD トレイを閉めるには、もう一度 [▲] を押してください。

- CD インジケーターが青色に点灯すればお使いになれます。

3 「Technics Music App」を起動して、CD の音楽を録音する

- 「ST-G30 メニュー」から行います。詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。
- 本機をネットワークに接続している場合、Gracenote データベースで、タイトル情報を自動取得します。

■ USB デバイスの音楽を取り込む

1 本機の [⏻/⏻] を押して電源を入れる

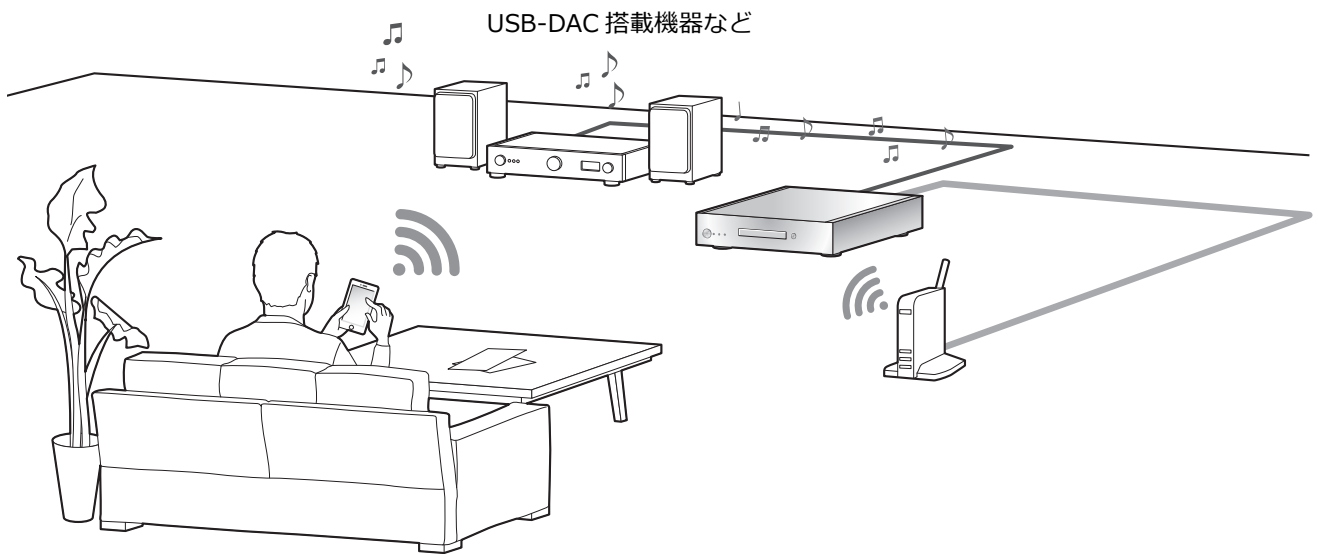
2 USB デバイスを本機背面の USB 端子 [IMPORT/BACKUP] に接続する

3 「Technics Music App」を起動して、USB デバイスの音楽を取り込む

- 「ST-G30 メニュー」から行います。詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

お知らせ

- 音楽を取り込んでいるときに、本機の電源を切ったり、USB デバイスを取り外したりすると、取り込み中の音楽は保存されません。
- CD や USB デバイスの使用状況によっては、音楽の取り込みが正常に行われなかったことがあります。
- 何らかの不具合により、正常に音楽を取り込めなかった場合の内容の補償、取り込んだ内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。




本機と USB-DAC を搭載しているプレーヤーやアンプを USB ケーブルで接続することで、パソコンを使用せずに本機の SSD に保存している音楽を再生することができます。

- 本機の SSD に保存している音楽以外を再生することはできません。
- 再生可能なフォーマットについては (⇒ 27)


準備する

- 本機とプレーヤーやアンプを接続する。(⇒ 18、19)
- 「Technics Music App」アプリをインストールした機器とプレーヤーやアンプを本機と同じネットワークに接続する。

1 「Technics Music App」アプリを起動する

- ST-G30 のメニュー表示設定画面が表示される場合は、「表示する」をタップしてください。
- 「ミュージックソース」画面に戻るには「」をタップする。

2 「ミュージックサーバー」をタップして、「Technics ST-G30*****」を選ぶ

- 「*****」は機器に固有の番号を表示します。
- 「ミュージックソース」画面に戻るには「」をタップする。

3 「」をタップしてスピーカー機器を選ぶ

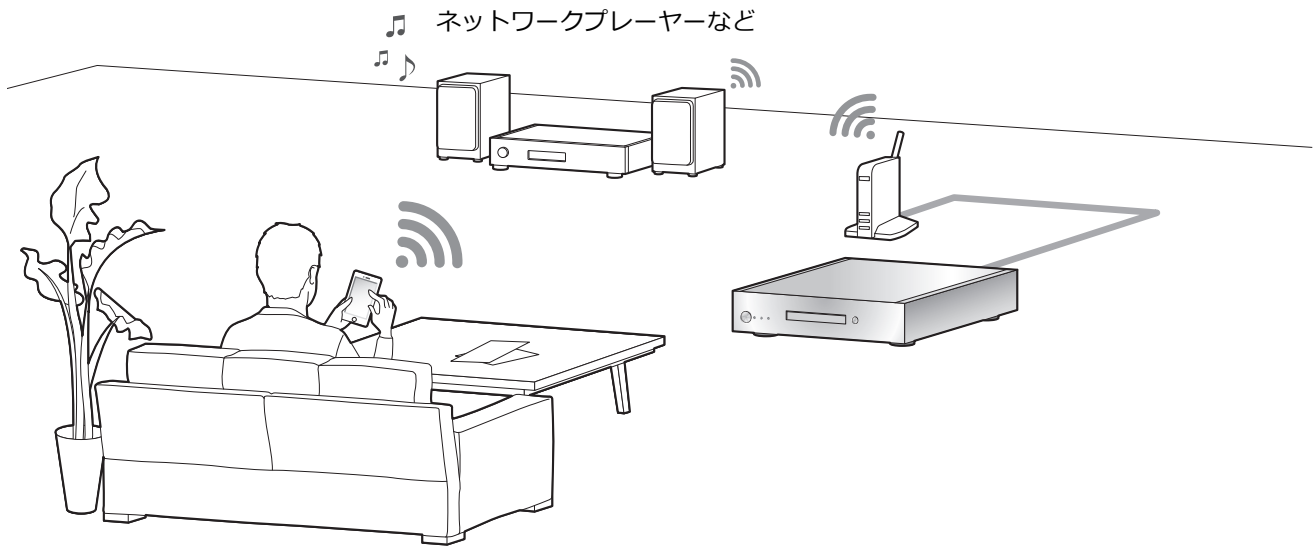
- 「USB-AUDIO」の下に Technics 機種名または「USB-DAC」が表示されます。

4 再生する曲を選択する

- 詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。




本機の SSD に保存している音楽を DLNA の機能を使って再生することができます。

- 再生可能なフォーマットについては (⇒ 27)


準備する

- 「Technics Music App」アプリをインストールした機器とネットワークプレーヤーやタブレットなどを本機と同じネットワークに接続する。

1 「Technics Music App」アプリを起動する

- ST-G30 のメニュー表示設定画面が表示される場合は、「表示する」をタップしてください。
- 「ミュージックソース」画面に戻るには「」をタップする。

2 「ミュージックサーバー」をタップして、「Technics ST-G30*****」を選ぶ

- 「*****」は機器に固有の番号を表示します。
- 「ミュージックソース」画面に戻るには「」をタップする。

3 「」をタップしてスピーカー機器を選ぶ

- 「DLNA」の下に機種名が表示されます。

4 再生する曲を選択する

- 詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

お知らせ

- DLNA 接続に関する最新のサポート情報は下記のサイトをご覧ください。
jp.technics.com/support/
- コンテンツや接続機器によっては、一部の操作ができなかったり、再生できない場合があります。

パソコンの音楽を取り込む

パソコンを操作して、ネットワーク経由で ST-G30L にアクセスし、フォルダや曲を保存したり編集することができます。

準備する

- 本機に取り込みたい音楽を保存しているパソコンを本機と同じネットワークに接続する。

例) Windows 7 の場合

- 1 フォルダを開き、「ネットワーク」をクリックする
- 2 フォルダ内の「コンピューター」の一覧に表示される「ST-G30-*****」のアイコンをダブルクリックする

- 「コンピューター」の一覧に本機の名前のアイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されていない場合はフォルダのアドレスバーにある「“ネットワーク”を最新の情報に更新」をクリックしてください。(OS の種類やバージョンによって更新ボタンがない場合は、アイコンが表示されるまで数分お待ちください)

- ユーザー名とパスワードを求められる場合があります。その場合は以下のように入力してください。

ユーザー名 : User

パスワード :

「Technics Music App」で設定したパスワード

–「ユーザー名」は変更できません。

–「パスワード」の初期値はありません。

–「パスワード」は変更することができます。

- 詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

- 3 「share」フォルダにパソコンのデータを保存する

お知らせ

- ご使用になる OS により、画面が異なる場合があります。
- 詳細については、下記サポートサイトでもご確認いただけます。

jp.technics.com/support/

バックアップ / リストア

SSD のデータを USB デバイスにバックアップしたり、バックアップしたデータを SSD へリストアすることができます。

- 1 本機の [⏻/⏪] を押して電源を入れる
- 2 USB デバイスを本機背面の USB 端子 [IMPORT/BACKUP] に接続する
- 3 「Technics Music App」を起動して、バックアップ / リストアする
 - 詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

お知らせ

- 音楽を取り込んでいるときに、本機の電源を切ったり、USB デバイスを取り外したりすると、取り込み中の音楽は保存されません。
- データ容量によっては、バックアップ / リストア完了までに時間がかかることがあります。

故障かな?と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について

長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、性能・品質には問題ありません。

ファームウェアを更新していますか?

本機の動作を改善するために、ファームウェアは必要に応じて更新されています。詳細については下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/

本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定)に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

1 電源プラグを抜く

- 3分以上たってから手順2を行ってください。

2 本体の [⏻/⏻] を押しながら電源プラグを接続する

本体前面のすべてのインジケータが点滅してから、本体の電源が切れます。

- すべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

SSD に保存した音楽や設定を消去する

本機の SSD に保存した音楽や設定を消去したいときは、以下の操作を行ってください。

1 「Technics Music App」アプリを起動する

2 「ST-G30 メニュー」から

「Technics ST-G30*****」を選ぶ

- 「*****」は機器に固有の番号を表示します。

3 「設定」から「初期化」を選ぶ

4 「アカウント情報を消去」をタップして、アカウント情報を消去する

- アカウント情報を消去する場合は、「OK」を選んでください。

5 手順4で「SSDのフォーマット」を選び、同じ操作をもう一度繰り返す

共通

本機が操作を受け付けなくなった

- 各種安全装置が働いていることがあります。

1 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を切る

- 切れない場合は、約5秒以上押し続けたままにすると強制的に切れます。

(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約3分後再びコンセントに差し込む)

2 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を入れる

(起動に時間がかかる場合があります)

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

音声が正常に出力されない

- 接続機器(アンプなど)の音量を調整してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していませんか。電源を切ってから接続し直してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。

再生が始まらない

- お使いの環境や接続機器の仕様によっては、少し時間がかかる場合があります。

本機の設定が初期化される

- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

電源が突然切れる

- 動作中に SSD が外れたり、故障したりすると、自動的に電源が切れます。SSD が本体に正しく取り付けられていることを確認してください。(⇒ 12、13)
- SSD を正しく取り付けても電源が切れる場合は、SSD が故障している可能性があります。

音が途切れる

- お使いの環境により、音声が途切れる場合があります。接続機器の説明書や接続を確認してください。

CD

音楽の録音が始まらない

- ディスクが傷ついたり、汚れていたりしませんか。(⇒ 28)
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起りそうなときは、部屋の温度になじむまで(約 2 ~ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。
- ファイナライズしていない CD-R、CD-RW は使用できません。
- 本機は、WMA/MP3 の音楽を録音できません。本機で利用できる CD については「対応メディアについて」(⇒ 28) をご覧ください。

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 18、19)
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- スマートフォン、タブレットまたは接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- スマートフォン、タブレットまたは接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。

再生が始まらない

音が途切れる

- 電波が途切れる場合は、ブロードバンドルーターの置き場所や角度を変えると接続機器の電波状態が良くなる場合があります。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- 再生が停止したときは、スマートフォン、タブレットまたは接続機器で再生状態を確認してください。

USB

USB デバイスを正しく認識しない

- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるか確認してください。
- 本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

音楽の取り込みに時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、音楽の取り込みに時間がかかることがあります。

SSD

SSD が認識されない

- SSD が正しく取り付けられているか確認してください。(⇒ 12、13)

STATUS インジケータが赤色に点滅する

- SSD のフォーマットを忘れていませんか。新しい SSD を使用するときは、必ず本機で SSD をフォーマットしてからお使いください。(⇒ 20)

■ 総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	28 W
電源切 (スタンバイ) 時の消費電力	約 0.3 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	430 mm × 98 mm × 391 mm
質量	約 10.9 kg
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C
許容相対湿度	35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

■ CD 部

対応ディスク	8 cm/12 cm CD、CD-R、 CD-RW
対応フォーマット	CD-DA
波長	783 nm (CD)
レーザーパワー	CLASS 1

■ 対応 SSD 部

容量	推奨 SSD ※ 1、2、3
フォームファクター	2.5 インチ 厚み 9.5 mm 以下
インターフェース	シリアル ATA 6 Gbps
電源電圧	5 V

※ 1 ストレージ (SSD) は付属していません。

※ 2 推奨品については、弊社の最新のカatalogや Web ページでご確認いただけます。
jp.technics.com/support/

※ 3 容量の一部をデータ管理に使用しているためユーザーが使用可能な容量は搭載 SSD 以下になります。


- SSD の容量は、一般的に 1 GB=1,000,000,000 バイトで計算しています。
1 GB=1,024x1,024x1,024=1,073,741,824 bytes
で計算している PC や一部のソフトウェアで見ると表示される値は小さくなります。

■ 端子部

LAN 端子	1000 BASE-T / 100 BASE-TX / 10 BASE-T
	DLNA
	対応フォーマット
	WAV: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/ 192 kHz、16/24 bit
	FLAC: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/ 192 kHz、16/24 bit
	DSD: 2.8/5.6/11.2 MHz
	AIFF: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/ 192 kHz、16/24 bit
	ALAC: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/ 192 kHz、16/24 bit
	AAC: 32/44.1/48/88.2/96 kHz、 16 ~ 320 kbps
	WMA: 32/44.1/48 kHz、16 ~ 320 kbps
MP3: 32/44.1/48 kHz、16 ~ 320 kbps	
USB AUDIO OUT	USB 2.0 High-speed
	DC 5 V、最大 500 mA
	USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
USB IMPORT/BACKUP	対応フォーマット
	DSD: 2.8/5.6/11.2 MHz
	PCM: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192/ 352.8/384 kHz、16/24/32 bit
USB IMPORT/BACKUP	USB 3.0 Super-speed
	DC 5 V、最大 900 mA
	USB Mass Storage class
	ファイルシステム FAT12、FAT16、FAT32、NTFS

注：この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

CD

-  マークの付いた CD
- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW(ファイナライズ※されたもの)
- 記録状態によっては音楽を録音できない場合があります。
- ※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD (故障の原因になります)

■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc (デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク)

■ 本機で使用できるディスクフォーマット

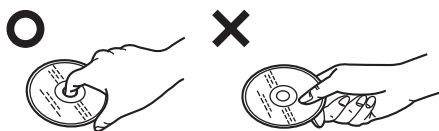
市販の音楽 CD(CD-DA)	○
CD-R/CD-RW(CD-DA)	○
CD-R/CD-RW(MP3)	×
CD-R/CD-RW(WMA)	×

■ 取り扱い上のお願ひ

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- ディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

持ちかた



再生面 (光っている面) には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



再生面 内側から外側へ
(光っている面)

つゆがついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD の録音ができないとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録音ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー (RP-CL720A) でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

USB

- すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB デバイスを充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16、FAT32、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーに対応しています。
- 本機は FAT32、NTFS 形式でフォーマットされた HDD (ハードディスク) に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。
- 本機はスーパースピード USB (USB3.0 準拠) に対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは本機に直接接続してください。
- USB 接続のカードリーダーライターは使用できません。
- 再生できないファイルがある場合は、保存しているファイルの一部を認識できない場合があります。
- 再生可能なフォーマットについて (⇒ 27)
- USB デバイスの動作中 (音楽の取り込み中など) に、本機の電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたり、振動や衝撃 (移動、回転など)、静電気を与えたりすると、取り込んだ音楽が消えて、故障の原因となります。USB デバイスの説明書もあわせてご覧ください。

SSD

■ SSD (ソリッド・ステート・ドライブ)

SSD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です。

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録音や伝送ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、ストレージトレイを取り外したりしないでください。また、停電などにより、録音・伝送中の内容が損なわれる場合があります。

SSD は一時的な保管場所です。

本機の SSD は音楽ファイルの一時的な保管場所としてご使用ください。大切な音楽ファイルは定期的に保存 (バックアップ※) することをお勧めします。何らかの不具合による音楽ファイルの損失および損害に対して当社は一切の責任を負いません。

SSD に異常を感じた場合はすぐにバックアップを…

SSD 内に不具合箇所があると、録音時や伝送時、バックアップ時に継続した異音がしたり、音声にノイズが発生することがあります。そのままお使いになると SSD の劣化が進み、SSD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかに USB デバイスにバックアップし、修理を依頼してください。

● SSD が故障した場合は、記録内容 (データ) の修復はできません。

※ 詳細については、「Technics Music App」のユーザーガイドで確認してください。

■ 推奨 SSD について

SSD は推奨品をお使いください。推奨品については、当社の最新のカタログや Web ページでご確認いただけます。

jp.technics.com

- 当社が推奨する SSD 以外の、互換性および推奨に関する情報を、当社は持ち得ません。

■ SSD 着脱に関するお願い

- 推奨品以外の SSD をご使用された場合や、誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、当社では責任を負うことはできません。SSD の種類や取り付け、取り外し方法をご確認のうえ、正しい方法で着脱してください。
- 当社が推奨する SSD を、当社指定の方法で着脱した場合でも、音質が変化することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 何らかの不具合による、データの消失、または正常に着脱できなかった場合のデータの補償、損失、および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負うことができません。また、SSD を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
- SSD を着脱する場合は、事前のバックアップをお勧めします。

■ 取り扱い上のお願い

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

本文に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
Google Play、Android は Google Inc. の商標です。
DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
DSD はソニー株式会社の登録商標です。
MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
"Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
FLAC Decoder Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPLV2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品内の共有フォルダにある ライセンス ファイルを PC などから参照してください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：

oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/>

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

本アプリケーションまたは本製品は、Gracenote の提供者が所有するコンテンツを含む場合があります。その場合、ここに説明する Gracenote データに関する全ての制限は、該当するコンテンツにも適用され、また該当する提供者は、ここに説明する Gracenote が享受可能な全ての利益および保護を享受する権利を保有します。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利かつ個人的目的にのみを使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。



Gracenote、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?」(⇒ 25 ~ 26)でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ミュージックサーバー
品番	ST-G30L
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このミュージックサーバーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

使い方・お手入れなどのご相談

DIGA (ディーガ)・オーディオご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-982** パナは キュウハチニ 受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

修理ご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-554** パナは イイヨ

■上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-225**

便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>




・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のミュージックサーバーの点検を!	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある 	▶ ご使用中 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
東北地区	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神通通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市中央区神道寺2丁目7-1
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
九州地区	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html>

1115

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



パナソニック株式会社
ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2016